

政策分野6

【都市基盤】

ひと・地域を支える都市基盤が充実するまちづくり

- 6-1 安全で快適な生活基盤を整える
(生活道路・河川・公園・上下水道等・通信)
- 6-2 地域と地域の活発な交流を支える道をつくる
(幹線道路)
- 6-3 便利で魅力あるまちの拠点をつくる
(都市計画)

安全で快適な生活基盤を整える (生活道路・河川・公園・上下水道等・通信)

基本的な施策の方向性

社会経済情勢が成熟期への移行をたどる中で、高度成長期に整備された道路・河川・公園・上水道・下水道などの老朽化が一斉に進行しています。

社会資本は「造る」から「守る」に重点が置かれ、道路舗装の打替えや橋りょうの長寿命化、上下水道関連施設等の耐震化など、計画的に整備、更新していく必要があります。

一方、スマートフォンをはじめとする、瞬時に大量の情報を入手し様々な処理を可能とする情報通信機器が普及する中で、情報通信基盤を充実していくことが、今の時代に必要であると認識されています。光ファイバ網などの通信インフラを整え、市内全域の情報格差是正を図っていきます。

施策と内容

1. 生活道路の整備を計画的に進めます

日常生活に欠くことのできない道路について、幅員が狭い箇所や舗装の劣化が激しい箇所などを計画的に改修していきます。

また、点検を主眼においた道路パトロールを日常的に実施し、不具合の早期発見、早期補修に努めることで、安全・安心な道路環境を提供します。

主要な取り組みの事例

- 生活に身近な道路の側溝改修、舗装修繕、道路拡幅等の計画的な推進
- 道路照明灯のLED化

め
ざ
る
こ
と
の
し
め
こ
し
め
る
こ
と

市道の整備率

H28 (2016)
38.4%

H33 (2021)
40.1%

2. 橋りょう・河川の整備により、市民の安全を守ります

「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、計画的な修繕や耐震補強工事を実施します。

また、断面不足²によって大雨時に危険度が高まる河川や、生活雑排水による環境悪化が著しい河川を計画的に改修します。

主要な取り組みの事例

- 橋梁長寿命化修繕計画や道路施設の点検結果を踏まえ、優先度を考慮した修繕工事の実施
- 災害対策として中小河川の改修や排水路の整備

め
ざ
る
こ
と
の
し
め
こ
し
め
る
こ
と

長寿命化修繕計画における 橋りょうの工事実施率

H28 (2016)
32.0%

H33 (2021)
84.0%

用語解説

- 【LED】発光ダイオード (light emitting diode) の略で、電圧をかけた際に発光する半導体素子 (電子部品) のこと
- 【断面不足】現況堤防断面が計画堤防断面より不足している状態
- 【公共水域】水質汚濁防止法によって定められる、公共利用のための水域や水路のことをいう。河川、湖沼、港湾、沿岸海域、公共溝きよ、かんがい用水路、その他公共の用に供される水域や水路。ただし、下水道は除く。
- 【世帯カバー率】整備済地域の家世帯数を住民基本台帳に基づく当該地域の世帯数で除した割合

この柱のみんなでめざそう値

市民意識調査「安心して暮らせる居住環境の整備」における市民満足度

H28(2016)
36.1%
47.9%H33(2021)
40.0%
51.7%政策分野6
都市基盤

▲ばらの丘公園

3. 親しみやすい公園緑地を整備します

公園緑地は、市民に安らぎと親しみを与える憩いの場としての機能に加え、災害時には避難地として重要な役割を担う社会基盤です。

除草や補修などの日常の維持管理作業により快適な環境の整備に努めていくほか、新たな公園整備や老朽化した施設の改修等を進めていきます。

主要な取り組みの事例

- 「緑の基本計画」に基づく向島町公園の整備
- 希少品種である「帯桜」の植樹による桜の花が咲き誇る景観の創出

めざそう値

公園愛護会団体数（年度末時点）

H28(2016)
46 団体H33(2021)
49 団体

4. 上下水道等関連施設の効率的な整備を進めます

市民が安心して快適な暮らしができる水環境の提供を目指し、施設の改修や配水管を整備・更新します。

また、住環境に配慮した公共水域₃の水質汚濁を防止するため、汚水処理にかかる施設や設備の緊急度・優先度に応じた整備・更新を進めます。

主要な取り組みの事例

- 将来負担をできる限り抑えた更新計画による持続可能な水道サービスの提供
- 「下水道長寿命化計画」や「ストックマネジメント計画」に基づく浄化センターや、その他施設の設備・機器の計画的な改修
- 公共下水道事業認可区域外における合併処理浄化槽への付け替え支援

めざそう値

市民意識調査「上下水道の整備」における市民満足度

H28(2016)
40.3%
49.8%H33(2021)
41.0%
50.6%

5. 誰もが快適に利用できる地域情報通信基盤の整備を進めます

超高速ブロードバンドサービスは世帯カバー率₄が9割を超えているものの、一部中山間地域では整備が行き届いていない場所があります。すべての市民が等しく高度情報化社会の恩恵を享受できるよう地域情報通信基盤の整備を進めます。

主要な取り組みの事例

- 超高速ブロードバンド未整備地区の解消
- コミュニティ施設などの地域拠点におけるICT機器や通信網の整備

めざそう値

超高速ブロードバンド 世帯カバー率

H28(2016)
92.01%H33(2021)
100%

関連データ

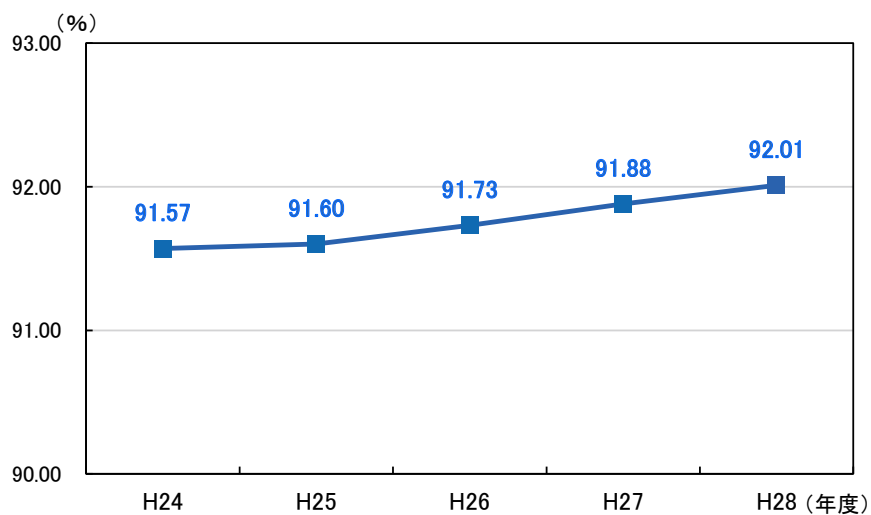
■市道の整備状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28
実延長（m）	1,113,927.5	1,114,404.3	1,115,541.6	1,115,807.1	1,121,148.4
本数（本）	3,614	3,618	3,623	3,627	3,658

■橋りょうの長寿命化修繕工事実施率の推移

年度	H26	H27	H28
実施数（橋）	3	7	20
実施率（％）	3	10	32

■超高速ブロードバンド 世帯カバー率の推移





▲帯桜記念植樹

地域と地域の活発な交流を支える道をつくる（幹線道路）

基本的な施策の方向性

国道1号4車線化や大代インターチェンジの完成型フルインター¹化、金谷御前崎連絡道路の菊川インターチェンジへの接続とそれに伴うフルインター化、国道473号の新東名高速道路島田金谷インターチェンジから国道1号大代インターチェンジまでの4車線化、空港アクセス道路県道吉田大東線の新設など、国・県による主要広域幹線道路の整備が大規模に進められています。

これらを補完する幹線道路を計画的に整備することによって、陸・空・海が結節し、地域間の活発な交流から生み出される波及効果を、市内至るところへと行き渡らせていきます。

施策と内容

1. 幹線道路の整備を推進します

広域幹線道路との連携を強化することで、市民の利便性の向上に加え、ヒトやモノが活発に交流する道路ネットワークを構築します。

主要な取り組みの事例

- 横岡新田牛尾線や島竹下線をはじめ、広域幹線道路への連絡機能を強化する幹線道路の整備
- 通勤・通学時等の安全確保につながる幹線道路の計画的な整備

めざそう値

都市計画道路の整備概成率

H28(2016)
87.4%

H33(2021)
90.9%



▲横岡新田牛尾線

用語解説

¹ 【フルインター】 高速道路や有料道路のように他の道路と区分された閉鎖的な道路区間と、一般の道路とを結ぶ立体交差式の上下線に対して全て乗り降りすることができる出入口

この柱のみんなでめざそう値

市民意識調査「主要な
道路の整備」における
市民満足度

H28(2016)
54.7%
59.4%

H33(2021)
59.7%
64.8%

政策分野6 都市基盤



▲国道1号島田金谷バイパス4車線化事業

2. 広域幹線道路の整備促進を行います

様々な分野の交流を促し経済活動を活発化させる広域幹線道路の整備について、国や県に対して強く働きかけていきます。

主要な取り組みの事例

- 国・県に対する、国道1号島田金谷バイパス及び藤枝バイパス4車線化の整備促進、東光寺インターチェンジフルインター化の事業着手の働きかけ
- 国・県との連携した国道1号、国道473号など広域幹線道路の早期完成
- 志太3市をつなぐ志太中央幹線、小川島田幹線とはばたき橋の4車線化の整備促進の働きかけ
- 富士山静岡空港と中心市街地を結ぶ空港アクセス道路島田ルートと東名高速道路吉田インターチェンジやはばたき橋をつなぐ南原ルート（県道吉田大東線）の県に対する整備促進の要望

めざそう値

「国道1号島田金谷バイパス4車線化事業」及び「国道473号金谷相良道路Ⅱ工区整備事業」の整備率

H28(2016)
29.2%

H33(2021)
80.0%

関連データ

■広域幹線道路の整備率（事業費ベース）の推移

単位：％

年度	H24	H25	H26	H27	H28
国道1号島田金谷バイパス4車線化事業	0.2	1.0	3.0	6.0	14.0
国道473号金谷相良道路Ⅱ工区整備事業	2.0	5.0	21.0	37.0	52.0
合算整備率（事業費ベース）	0.9	2.6	10.2	18.4	29.2

基本的な施策の方向性

江戸時代、大井川の川越しで栄えた当市は、時代を超え、富士山静岡空港の開港や新東名高速道路の開通、さらに、金谷御前崎連絡道路の国道1号への接続などにより、交通の要衝としての確固たる地位を築いています。ヒト・モノが大交流する拠点の形成と、その効果を起爆剤に地域活性化へとつなげていくことが、私たちの大きな役目です。

一方、今の時代がもたらす社会経済全般に関わる人口減少・少子高齢化問題は、行政経営をはじめ様々な影響を与えています。

広大な市域を持つ当市が、効率よく柔軟に行政サービスを提供していくためには、各地域の拠点に必要な機能を集約し、拠点間のつながりを充実した「コンパクト+ネットワーク」の考えに基づく「まちづくり」が必要です。

施策と内容

1. 都市計画マスタープラン¹を見直し集約型都市の実現を目指します

静岡県が実施する都市計画基礎調査をもとに都市計画マスタープランの見直しを図り、将来にわたって都市機能が維持できる集約型都市（コンパクトシティ）の実現を目指します。

主要な取り組みの事例

- 都市計画マスタープランの改訂作業
- コンパクトな都市構造を実現する立地適正化計画の必要性の検討

めざす値

市民意識調査「計画的な土地利用の推進」における市民満足度（再掲）

H28 (2016)	H33 (2021)
13.9%	14.9%
21.0%	22.4%

2. 地域景観の向上を図ります

豊かな自然がもたらす美しい景観や価値ある歴史景観は、当市固有のものとして後世に引き継いでいかななくてはなりません。

良好な景観の形成と風致の維持を図るため、景観計画に基づいた重点地区を指定するほか、県条例に沿った屋外広告物の管理に努めていきます。

主要な取り組みの事例

- 大井川川越遺跡周辺地区の景観計画重点地区²への指定
- 新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺地区の景観計画重点地区への指定

めざす値

市民意識調査「心地よい景観の形成」における市民満足度

H28 (2016)	H33 (2021)
44.8%	49.7%
60.3%	65.8%

3. 新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺地区（内陸フロンティア推進区域）の開発整備を進めます

賑わい交流拠点の整備や工業用地の造成などによる都市的土地利用を進め、「稼ぐ拠点」を創出し、産業の活性化につなげるまちづくりを進めます。

主要な取り組みの事例

- 「内陸フロンティア推進区域」の開発整備の推進
- 堤間地区や牛尾山地区への企業誘致の促進
- 関連する企業や団体と連携した「新東名島田金谷インターチェンジ周辺賑わい交流拠点」の整備

めざす値

内陸フロンティア推進区域
①企業立地面積 ②企業立地件数
(①、②とも H30 年度からの累計)

H28 (2016)	H33 (2021)
① —	① 8 ha
② —	② 4 件

用語解説

- 1 【都市計画マスタープラン】 取り組むべき都市づくりの施策の方向性を示し、都市全体における総合的な土地利用の方針として、将来の都市像を明確にすることを目的とした計画
- 2 【景観計画重点地区】 景観計画区域のうち、特に美しい景観形成に向けて、重点的かつ計画的に整備していく必要のある地区

この柱のみんなめざそう値

市民意識調査「計画的な土地利用の推進」における市民満足度

H28(2016)
13.9%
21.0%H33(2021)
14.9%
22.4%政策分野6
都市基盤

▲川根鵜山七曲りパラグライダーパーク

4. 富士山静岡空港周辺プロジェクトを進めます

にぎわいの創出と交流人口の拡大を目的に空港周辺の基盤整備を行い、県が運営する「ふじのくに茶の都ミュージアム」や民間事業者を整備主体とする旧金谷中学校跡地周辺の利活用を県と連携して進めます。

主要な取り組みの事例

- 「空港ティーガーデンシティ構想」や「ふじのくに茶の都しずおか構想」、「旧金谷中学校跡地の活用に向けた基本計画」に基づく、民間事業者による施設整備を県と連携して推進
- 静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業による周辺のまちづくりの推進
- 富士山静岡空港新幹線駅の設置に向けた取り組みを県と連携して推進

めざそう値

市民意識調査「富士山静岡空港を活用したまちづくり」における市民満足度

H28(2016)
22.7%
30.8%H33(2021)
35.0%
46.7%

5. 新たな交流拠点の形成を図ります

川根地域の大井川鐵道家山駅と川根温泉を大井川流域観光の拠点と位置づけ、野守の池やパラグライダーパーク、鵜山森林公園キャンプ場などの多彩な地域資源と有機的に結ぶことで、魅力あるエリアづくりを進めます。

主要な取り組みの事例

- 川根地域集落ネットワーク圏の形成
- 大井川鐵道家山駅周辺におけるにぎわいを生み出す施設の整備
- 大会誘致を見据えた、パラグライダーパークの知名度向上
- 鵜山森林公園キャンプ場の運営支援

めざそう値

川根温泉及び川根温泉ホテルの利用者数(年間)

H28(2016)
399,962人H33(2021)
412,000人

6. 六合駅駅前広場の整備を進めます

人口増加が顕著な六合地区では、六合駅利用者数が増加し、送迎車両による混雑の常態化等が課題となっています。地域交通の中核となる六合駅駅前広場の整備を進め、利用者の利便性と安全性を高めていきます。

主要な取り組みの事例

- ＪＲ六合駅駅前広場における乗降スペースの拡大や通路シェルターの設置
- 六合駅周辺における道路交通の円滑化

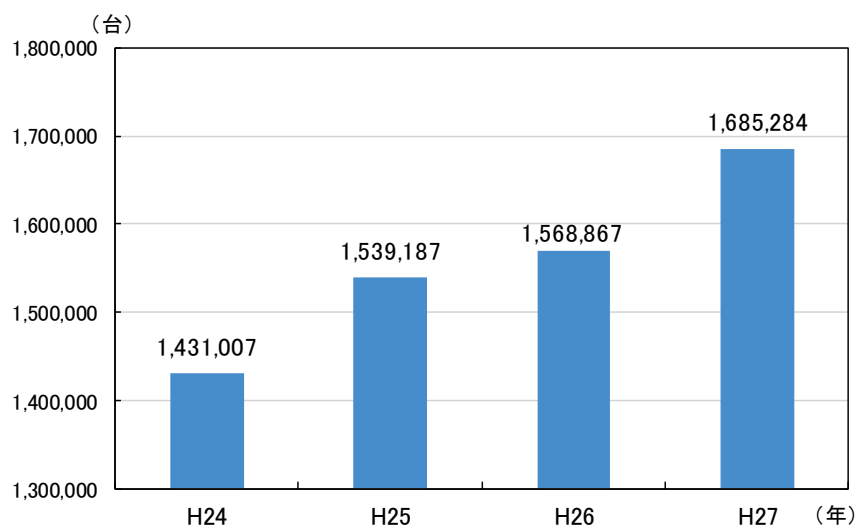
めざそう値

市民意識調査「公共交通機関の充実」における六合地区満足度

H28(2016)
37.0%
40.0%H33(2021)
37.7%
40.7%

関連データ

■新東名高速道路島田金谷インターチェンジ入出交通量の推移



出典：静岡県統計年鑑

■ＪＲ市内主要駅の１日平均乗降客数の推移

単位：人

年度		H24	H25	H26	H27
島田駅	一般	3,723	3,721	3,586	3,660
	定期券利用	7,694	7,671	7,372	7,534
	合計	11,417	11,392	10,958	11,194
六合駅	一般	2,045	2,031	1,940	1,988
	定期券利用	4,187	4,174	4,049	4,112
	合計	6,232	6,205	5,989	6,100
金谷駅	一般	1,485	1,467	1,451	1,477
	定期券利用	2,721	2,782	2,706	2,699
	合計	4,206	4,249	4,157	4,176
合計	一般	7,253	7,219	6,977	7,125
	定期券利用	14,602	14,627	14,127	14,345
	合計	21,855	21,846	21,104	21,470

■富士山静岡空港利用者数の推移

単位：人

年度		利用者総数	内訳	
			国内線	国外線
H21 (H21. 6. 4 ~)	(開港 1 年目)	527, 862	351, 577	176, 285
H22	(開港 2 年目)	555, 459	316, 082	239, 377
H23	(開港 3 年目)	411, 880	266, 413	145, 467
H24	(開港 4 年目)	446, 755	251, 329	195, 426
H25	(開港 5 年目)	459, 006	292, 900	166, 106
H26	(開港 6 年目)	549, 179	305, 002	244, 177
H27	(開港 7 年目)	698, 652	309, 083	389, 569
H28	(開港 8 年目)	611, 361	334, 902	276, 459

出典：静岡県資料



▲富士山静岡空港



▲新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺 賑わい交流拠点整備 基本計画 マルシェ施設内イメージ図